

53 室内ウォークラリー

室内ウォークラリーとは、グループで協力して指示図に示された CP(チェックポイント)を番号順に回り、そこに出題されている課題を解きながら、一定時間内に定められたコースを踏破するものである。

1 ねらい

- (1) グループ単位での活動を通して、連帯感や協調性を養う。
- (2) 与えられた課題を解決することにより、発見や知識を知る喜びを体験し、観察力・注意力・洞察力・判断力を養う。

2 対象及び最大人数 小学校上学年以上 100人

3 所要時間 90分～120分

4 準備

- (1) 用具 …… ゼッケン、、指示図、解答用紙、筆記用具、バインダー、ポスト
- (2) グループ編成…… 3～6人程度
- (3) 時間配分 …… スタート時刻、スタート間隔時間、ゴール時刻(指定時間)、スタート順序を決定する。
- (4) 団体との連携……グループの編成、筆記用具の準備、服装、集合場所、引率者の役割(安全指導、出発指導、ゴール受付、集合、整列の指導、見学者の指導)

5 指導の実際

| 指導区分 | 指導内容 | 留意事項 |
|-----------|--|--|
| 導入 20分 | <p>1 事前指導</p> <p>(1) グループ編成の確認</p> <p>(2) 用具の配布</p> <p>(3) 活動のねらいの説明</p> <p>(4) 活動方法の説明</p> <p>① 地図の見つけ方、地図記号の説明</p> <p>② 課題の見つけ方・CPの説明</p> <p>③ 活動の概要</p> <p style="padding-left: 2em;">出発→CP1より順番に回る→課題解決→(解答用紙記入)→ゴール→解答用紙の提出</p> <p>④ 解答用紙の記入方法</p> <p>⑤ スタート時刻、ペナルティ(タイム得点)の説明</p> <p>⑥ 順位の決定</p> | <p>室内でのマナーを確実に守らせる。</p> <p>コース図及び問題板を使って説明する。</p> <p>タイム得点の説明は実例を元に指導する。</p> |

| | | |
|-------------------|---|---|
| | 採点の方法と同点の場合の順位決定の説明をする。 (5) 安全指導 | 第6項を参照し、十分な安全指導を行う。 |
| 展開 60分～ 80分 | 2 スタート (1) グループごとに決められた時刻(1～2分間隔・・・班数で考慮)で出発させる。 (2) スタートの合図の係及び見学者や引率者を活用する。 3 活動 (1) 課題解決活動をさせる。 (2) ポイントにおける指導を行う。 4 ゴール (1) 受付場所の設営をする。 (2) 受付の役割分担をして、その要領を説明する。 (3) ゴールしたら申解答用紙を提出して到着時刻を記入してもらう。 (4) 用具等の収納をさせる。 | 出発の工夫 ・ 役割分担 ・ 声かけ ・ 準備運動 マナーを守らせるために見回りをを行い、場所に応じた指導を行う。 先にゴールしたグループへの指導。(待機場所、態度) 状況に応じて保健指導を適宜行う。(汗の後始末、うがい、手洗い、更衣等) |
| 終末 20分 | 5 反省と評価 (1) 正解を発表して、グループごとに解答の理解と反省をさせる。 (2) 成績発表と表彰をする。 (3) 講評(まとめ)をする。 ① 全体的な解答の様子や時間の正確さについて ② 活動の状況(ねらいの達成度や活動態度など) ③ 室内でのマナーについて ④ 用具の後始末 | 解答のポイントを再確認させる。 私用したものはきちんと片付ける。 事後確認を確実にする。 |

6 留意事項

- (1) コースの特徴(室内であること)を十分に確認し、マナーに気をつけさせる。
- (2) グループを効果的にを行い、グループで協力できるようにする。
- (3) みだりに使用しない部屋に立ち入らないよう指導する。
- (4) 負傷者や病人が出たときは活動をやめ、速やかに所員と引率者に知らせる。
- (5) 活動時の服装を指導する。
- (6) 活動後の給水、うがい・手洗い、汗の後始末、更衣などをさせる。